

第一小学校 研究推進全体計画

卒業後を見通した めざす子ども像

- ・自分を知り、多様性を認め合う。
- ・おかしさに気づき、思いを発信できる。
- ・なりたい自分をイメージし、目標をもって行動できる。

第一小学校研究の柱
「TIE サイクル～思考力(Thinking)・想像力(Imagination)・表現力(Expression)の育成～」

学力保障部

人権仲間づくり部

支援教育部

| 目標 | 学力保障部 | 人権仲間づくり部 | 支援教育部 |
|-----|--|--|---|
| 目標 | ・わかる授業の創造を進め、基礎学力の充実をはかり、よく聞き、よく考え表現する子どもの育成をめざす。 | ・つねに自らの人権意識を内省し、バランスのとれた人権感覚を有した教職員集団として、人権尊重の実践的態度を身につけて行動する子どもを育てる。 ・子どもたちの見えない背景に思いを馳せて、一人ひとりのちがいを認め互いに助け合える集団の育成をめざす。 ・子どもたちに関わる課題解決に向けて、早期対応、関係機関との連携を図る。 | ・特別な教育的支援を必要とする児童の状況を把握し、より適切な支援方法を追求する。 ・支援教育及び障がい者理解教育の推進を図る。 ・全職員の支援教育に関する理解を深め、専門性を高める。 |
| テーマ | 「他者との関わりの中で考えを深める ～書く活動を取り入れて～」 | 「気づきから行動へ ～豊かな人権感覚を身につけ、 多様性を尊重する子どもの育成～」 | 「ちがいを認め合う ～心豊かな児童の育成～」 |
| 6年 | ・体験や事実などの根拠をあげて具体例をあげて書く ・図やグラフ、テーマをもとに、表現を工夫して文章を書く | ・個性を認め合い、それぞれの良さを活かしつつ、高め合える集団をめざす | 実態に応じて 【集団】 ・集団の中で、自分の役割を果たす ・いろいろな友だちとの適切な関わり方を身につける 【他者】 ・自分と相手の違いを知る ・相手との距離感を身につける 【自分】 ・身のまわりのことが自分でできる ・自分のことを知り、良いところや苦手なところ気づく |
| 5年 | ・反論を予想して書く ・事実と意見に分けて表現を工夫して書く ・文章全体の構成を考え、自分の考えや意見を具体的に書く | ・相手のことを考え、尊重しようとする意欲・態度を養う | |
| 4年 | ・自分の考えを、理由をあきらかにして書く ・相手の意見を参考にして、書く | ・お互いのもちあじを知り、友だちと協力して取り組む | |
| 3年 | ・主張と根拠を明確にして文章を書く | ・自分や相手を知り、助け合える集団をめざす | |
| 2年 | ・自分の思いや考えを順序立てて、整理して書く ・内容のまとまりが分かるようにする ・書き表し方を楽しみながら工夫して書く | ・友だちの話を聴き、自分の思いを伝える | |
| 1年 | ・文章で気持ちを表現する ・読み手に伝わりやすい文章を書く | ・いろいろな思いや考えがあることに気づく | |

